

数字で遊ぶ・数字を遊ぶ
こんな遊びはいかがですか？

準備：任意の一桁の数字を四つあげる

<例題> 2・5・9・7

遊び方：四つの数字を使って、 $+$ $-$ \times \div 及び()を使用して計算式を作り、様々な数字を生み出していく。

答えが「0」になる計算式、「1」になる計算式、「2」「3」・・・と順に作っていき
どこまで可能か続けてみる。

① 数字の使い方

一桁の数字(2・5・9・7)から三桁の数字(最大975)まで、任意の桁数で区切って使用
することができるが、一つの計算式の中では同じ数字は一度しか使用できない。

<例題> 表現できる数字の例

一桁=2・5・9・7

二桁=25・27・29・52・57・59・72・75・79・・・(以下省略)

三桁=257・259・527・529・725・729・759・・・(以下省略)

② 計算式の作り方

加算のみの場合の例 $2+5+9+7=23$ $25+97=122$

加算・減算の組み合わせの例 $9-7+5-2=5$ $52+9-7=54$

乗算・除算と加算・減算の例 $2\times 5+9-7=12$ $59-7\times 2=45$

()がある計算式の例 $(5-2)\times(9-7)=6$

<例題> 2・5・9・7の場合の回答例

$2\times 7-9-5=0$ $2\times 7\div(9+5)=1$ $5-27\div 9=2$

$72\div 9-5=3$ $5-2\div(9-7)=4$ $9-7-2+5=5$

$5+2\div(9-7)=6$ $7\div(5\times 2-9)=7$ $7+(5\times 2-9)=8$

$9-5+7-2=9$ $(2+5)\div 7+9=10$ (以下省略)

楽しみ方のスタイル：

① 一人遊び

② 二人遊び

二人で一緒に考える。(親子など)

二人で交互に進める。(親子・友人などで楽しむことができる)

③ グループ競技

二つのチームに分れて、早い者勝ちで点数を付けて争う。

家族ドライブの時に、後部座席で退屈する子ども達に、前を走る車のナンバープレートの四桁の数字を与えて遊ばせるのも一つのアイデアです。

ともすれば電子機器に頼りがちな現代、頭だけ(暗算)または紙と鉛筆だけでも遊ぶことができる「遊び」のスタイルを大事にしたいものです。

遊びながら「数字に興味を持つ」「算数に親しみを持つ」などの効果が得られ、中高年齢層の人には脳の活性化(劣化防止)などの効果も期待できます。

一度試してみてください。

以上